

匝瑳市教育委員会平成25年1月定例会会議録

匝瑳市八日市場ドーム選手控室

1 期 日 1月25日(金) 開会 午後3時25分 閉会 午後4時55分

2 出席委員 委員長 川内 恵美子  
委員 平山 延樹 委員 竹澤 実  
教育長 池田 竹四

3 出席職員 学校教育課長 吉川 昇 生涯学習課長 佐藤 和  
公民館長 今井 嘉則 図書館長 横町 昌之  
給食室長 岩澤 薫

4 委員長挨拶

皆様、あけましておめでとうございます。昨年は子ども同士のいじめの問題について、多くの教育関係者が知恵を絞りあつて考え、現在、いじめを無くそうと取り組んでいます。しかし、残念なことに新年早々、教員の体罰で生徒が自殺するというショッキングな出来事が大阪で発生しました。力で抑える指導では従順な高校生は育っても、問題の解決を自分で考える人材は育ちません。表面に出てこない言葉による体罰もあるかと思えます。いじめや体罰について、教育委員会の対応のまずさが浮き彫りになっており、学校、教育委員会のあり方が今までになく問われています。体罰一掃、いじめ早期発見、早期対応を心がけ、子どもたち一人ひとりの人権を尊重し、安心して学びあい、将来の夢を育み、たくましく生きる力を伸ばして楽しい学校生活を送れるような匝瑳市にしていきたいと思っています。今日は、報告事項が1件、協議事項が1件ございます。よろしくご審議下さるようお願いいたします。

5 前回会議録の承認(前、12月定例会分)

川内 恵美子 委員長  
竹澤 実 委員

6 議事録署名人選出(本、1月定例会分)

川内 恵美子 委員長  
平山 延樹 委員

7 現況報告及び当面の方針

資料に基づき、各課館室長が12月1日から12月31日までの現況報告及び当面の方針について説明があった。

竹澤委員 様々な教育課題があるわけだが、それぞれ学校現場、教育委員会事務局が早急に対応しており、大きな問題に至っていないことが前回からの報告で感じられる。今回、アレルギー症状の子どもについて報告があったが、親は子どもの食物アレルギーについて、まったく知らなかったのか。

学校教育課長 親からの報告はなかった。入学する段階でも学校では必ず調査しているが、今回は報告もなかった。

竹澤委員 匝瑳市の小中学校では、今までこのようなアレルギー症状を持つ子どもはいないということか。

学校教育課長 アレルギー症状を持つ子どもはいるが、自分でそれを食べないようにしていただいている。たとえば牛乳などにアレルギーがある場合は、親から報告が出ており、実際に給食へは出さないようにしており、その分の給食費も頂いていない。ふたつの給食センターの施設はだいぶ古いため、都市部でやっているようなアレルギー対策が施された食事は出せないでいる状況だ。

竹澤委員 アレルギーがある子は、給食を食べないのか。

学校教育課長 まったく食べないわけではない。これが食べられないという報告をもらっており、自分でも食べないということで現在までは事なきを得ているという状況だ。

竹澤委員 先日、給食に関して非常にショッキングな事例も発生しており、十分に気をつけて対応していただきたい。

(その他質問等はなかった。)

## 8 報告事項

報告第1号 匝瑳市の児童生徒のいじめ等に関する調査について

(学校教育課長から説明があった。)

竹澤委員 いじめ等に係る調査を匝瑳市全体でまとめられたということで、非常に興味深くこの資料を拝見させてもらったが、概ね7割程度が解消されており、先生方の努力が感じられる。細かくそれぞれの事例を見てみると、例えば暴力事件等もある。これについては家庭、本人に対して指導がされ改善されているということか。

**学校教育課長** 幸いだがこれ以上のことは起きていない状況である。

**竹澤委員** 体罰に関することだが、資料にある通知については、市内の学校すべてが保護者へ出したということなのか。

**学校教育課長** そのとおりである。国、文部科学省から文書が出ており、文部科学大臣がすべてを調査するとした部分である。県教育委員会を通じて来ており、すべての家庭に連絡がいつている。

**竹澤委員** 市内すべての学校で保護者へ通知した結果、相談があったのが1件であったということか。

**学校教育課長** そのとおりであり、その内容も体罰のことではなかった。

**竹澤委員** 相談窓口については、椿海小学校の例では担当教諭とサポートセンターが紹介されている。匝瑳市ではスクールカウンセラーもいるわけだが、その紹介は今回されていないのか。

**学校教育課長** 各学校でスクールカウンセラーについては年度初めに連絡されている。今回はスクールカウンセラーではなく、職員の中から位置づけしており、担当相談窓口の先生を連絡している。

**竹澤委員** 各学校の担当教諭が設置され、担当窓口が明示されたということなのか。

**学校教育課長** そのとおりである。

**平山委員** 今回の調査結果をみると、全体で把握されているいじめの件数が35件ある。学校別にみると発見件数に偏りがあり、他の学校に比べて多いところが小学校で2校、中学校で1校ある。これについてはどう考えているのか。

**学校教育課長** 細かいところまで見て頂いているということがあると思うが、実際に案件が発生している。学校側がちゃんとみて対応しようということを出ている。件数が多い学校が荒れているという状況ではなく、かえって一番落ち着いているのではないかと思う。

**平山委員** いじめ発見のきっかけの項目をみてもらおうとアンケート調査による発見が多い。先生方が、日頃、良く観察されていることはもちろんだが、定期的なアンケート調査の回数を重ねてされた方が、より大事に至らないうちに見つけられると考える。

(その他、質問等はなかった。)

## 9 協議事項

協議第1号 匝瑳市立教育委員会顕彰規程に基づく表彰について

(学校教育課長から説明があった。)

**竹澤委員** こういう形で、匝瑳市の子どもたちが教育、文化、芸術で非常に目覚ましい実績を挙げている。活躍されていることは、うれしいことであり、是非大いに広く市民に知らしめてほしい。そのことが匝瑳市の教育への信頼にも繋がっていく。となく、教育問題というと問題だけがクローズアップされるが、子どもたちは大いに活躍しているのだということを広報誌だけではなく、様々な会議などの機会を通じて、広く市民へ知らしめていただきたい。

**平山委員** 表彰されることは嬉しいことである。反対ということではないが、その協会独自で開催している大会等もある。顕彰要領の第2で国、都道府県及び都道府県教育委員会の主催、共催または後援する行事と規定しているが、要領のなかでもう少しはっきり選考ができるような形にした方が良いのではないかと考える。

**学校教育課長** これについては、他県が主催または後援する大会での入賞ということで、要領の第1の(2)文化、芸術分野での活躍ということで提出している。

**竹澤委員** 私は子どもたちの活躍の場がより広くあった方が良いと考える。今までとなく、学校教育だけに限定して表彰されてきたきらいがある。社会、生涯学習も含めて活躍している子どもたちをより広く表彰していってほしい。市のホームページ等にも掲載して、学校だけでなく広く市民へ紹介していただきたい。要領、規程についても、これで十分であるのか良く精査していただきたい。

(その他質問等はなく、審議の結果、承認された。)

## 10 その他

学校教育課長から3月臨時教育委員会の開催日程について報告があった。